



福岡市の認知症施策について

2024.3.26

福岡市の現状

■行政区	7区
■総人口	約164万人
■65歳以上人口	約35万人
■高齢化率	22.2%
■10～20代の人口	約35万人
■10～20代の割合	22.1%

R5.7.1現在

認知症フレンドリーシティ・プロジェクト

「認知症になっても 住み慣れた地域で 安心して自分らしく 暮らせるまち」

コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード[®]」

241 講座
延べ 10,440 人

【様々なレベルやニーズに応じた講座を展開】

- ユマニチュードによるケアを行うことでBPSDの軽減や介護者のストレスの軽減等が確認されている
- 国内外の導入施設等において、薬の使用量やせん妄、拘束の減少等が確認されている

認知症の人にもやさしいデザイン

52施設
(公共47/民間5)

【住環境だけでなく製品やまちづくりなどにも展開】

- ポイントは「コントラスト」「文字とピクトグラムの併記」
- 認知症の人へのヒアリングやスターリング大学DSDCの知見を参考に策定

「手引き」を
DLできます



認知症の人の活躍のために

「オレンジパートナーズ」「オレンジ人材バンク」

産学官民で認知症について、自ら学び、考え、つながり、行動するためのコンソーシアムと、認知症の人と企業等をつなぎ、認知症の人が活躍することを支援する仕組みを構築

福岡オレンジパートナーズ

110企業・団体 → 協働した企業 19社

福岡オレンジ人材バンク

17人5団体 → 活躍した認知症の人 延べ 491人

－ 企業・団体の皆さんとの約束 －

- ボランティアやCSRで参加しない
- 認知症の人を顧客として考える

物をなくさない園芸バッグ
結ばなくていいエプロン



高齢者にも使いやすい
ガスコンロ





ご清聴ありがとうございました